

一 般 質 問 通 告 書

令和 4 年 8 月 1 9 日

議 会 議 長 様

議席番号 7 番

議員氏名 大 橋 芳 久

質 問 事 項	質 問 要 旨	指 定 答 弁 者
1. 高齢者のごみ出し問題	高齢になればなるほど体力の衰えなどによりごみの分別やごみ出しが困難になる。ごみの収集時間が朝早いのでヘルパーなどにも助けを求めにくく、部屋にごみがたまることで家のごみ屋敷になり、そのごみにつまずき骨折などのけがをするなど、最悪の場合、命を落とす要因にもなりえる。実際、このような事故が起きていることも報告されており、現在、高齢者のごみ出しが社会問題になっている。 昨年2月に環境省が都道府県を通じて全国の自治体に行った調査によると、回答があった1,197自治体中、34.8%にあたる417自治体で「高齢者を対象としたごみ出し支援を行っている」と答えており、横浜市や新潟市などでは先進的な取組をしている。 当町においても、杉戸町高齢者保健福祉計画（第8期介護保険事業計画）において、ごみ出し支援について触れている。高齢化が加速するのは当町においても同じであり、この問題が今以上に顕在化されるものと思われる。 そこで、以下のことを中心に伺う。 (1) 当町における高齢者のごみ出しの支援の現状は。 (2) 高齢者のごみ出し支援を拡大する予定は。 また、その障壁とは。 (3) 高齢者のごみ分別に対する当町の認識は。	町長 副町長 環境課長 高齢介護課長 福祉課長 住民協働課長

8 月 1 9 日 午前・午後 1 時 0 0 分 受理

質 問 事 項	質 問 要 旨	指 定 答 弁 者
2. 町長マニフェスト（公約）の実現性は	8月に行われた町長選挙の結果、窪田町長が当選され新町長に就任した。 町長は、その選挙戦で「4つの優先政策」と「今すぐやるべき9つの課題」をマニフェストに掲げて戦われた。 町長は約9年間、町議会議員として活動されてきており、町長なりに杉戸町の現状を分析、認識し、十分に実現可能だと判断されたものをマニフェストとして掲げられたものだと推測する。 そこで、以下伺う。 (1) 掲げたマニフェストは、任期中に実現可能なものなのか。 (2) 議員時代に取り組まれた問題を、マニフェストとして掲げたと思われるが、町長は次の問題について議員時代にどのように取り組まれたのか。また、何が課題だと考えたのか。 ① 教育について(県内トップクラスの学力を身に付けるため、小中一貫校の創設)。 ② 農業について(大学農学部との連携、アグリパークで農業の活性化)。 ③ 町内巡回バスの利便性の向上について。 (3) マニフェストの詳細について。 ① 「企業立地戦略室」とはどのようなものか。 ② 「水害のないまちづくり」とはどのようなものか。 また、どのように成し遂げるのか。	町長